

TOPPOS

TOKIWA POST

VOL. 27
AUTUMN

常磐大学
■大学院 ■国際学部
■人間科学部 ■国際学部
■コミュニティ振興学部
常磐短期大学
常磐大学高等学校
常磐短期大学 附属幼稚園
[2002.9.20.]

発行/学校法人 常磐学園 ■編集/学園報編集室 水戸市見和1丁目430-1 電話 029(232)0007 http://www.tokiwa.ac.jp/

水戸駅前川又書店六階に開校

常磐大学水戸駅前生涯学習センター

現在、拡大が進む地域社会の学習ニーズ。そのさまざまな要求に応えるのが「常磐大学生涯学習センター」。交通アクセスに優れたこの第3センターがより身近な学問の機会を提供する！



自己再発見！誰でも学べる常磐大学の公開講座。



↑一回目の講座を飾った、諸澤英道教授の「被害者学入門Ⅰ」



←盛大に行われた開設記念セレモニー

地域に開かれた大学の窓口「常磐大学水戸駅前生涯学習センター（第三センター）」が平成十四年七月十日、水戸駅前川又書店六階に開校した。「常磐大学生涯学習センター（第一センター）」「常磐大学高等学校生涯学習センター（第二センター）」に次いで三校目となるこの第三センターは、交通ア

クセスに優れた水戸駅前という立地環境を活かし、さらに多くの人たちに学ぶ機会を提供するもの。当日は初講座に先駆けて、開設記念セレモニーが執り行われた。セレモニーは、都合により欠席となった諸澤正道理専長に代わり、大

堀副学長の挨拶でスタート。大堀副学長は「今後、市民の多様な、また高度な学習ニーズに応え、一層発展するセンターづくりを行いたい」と、将来を見据えた意欲的な取り組みをアピールした。次に来賓挨拶として常磐学園黒木剛司理事の挨拶。そして、開設に当たりさまざまな協力をいただいた川又書店・川又銀藏会長と川又英宏社長の紹介へと進行し、生涯学習センター長・糸賀茂男教授の挨拶へ。糸賀センター長は、周辺にもたくさんの方々の生涯学習施設が設置されていることを踏まえた上で「地域の学習ニーズと大学の学術資源をリンクさせるため、研究社会的リサーチ、現状分析を新たなスタートとして行っていく」と次のステップに向けた取り組みを示した。そして諸澤英道教授の発声で祝賀が行われ、セレモニーは幕を閉じた。

初日に行われた公開講座は、諸澤英道教授による「被害者学入門Ⅰ」被害者学の基礎知識」。この講座は、定員を大幅に超える四十名以上が受講。地域の人たちの関心の高さを示す第一回目の講座となった。

この講座の受講生となった菊池文夫さん（六十七歳）は「私は民生委員としてボランティア活動などを行っているので、地域活動の中で少しでも役立つことがあればと思い受講することを決めました」と、実践的な講座内容に強い期待を抱いている。また県立高の英語講師、小川加代子さん（三十七歳）は「カウンセリングや心理学に興味があるので、今回の受講は専門的な扉を開く第一歩だと考えています。もちろん人間の心を知ることは、教育の現場で生徒たちと向きあうためにも必要です」と、個人としてのステップアップと教育での応用を語っていた。

この水戸駅前生涯学習センターの開校は、多様化する地域社会の学習ニーズに応えるものとなりそうだ。

◎シリーズ27 ツルボ

秋の訪れを告げる可憐な花「ツルボ」

秋の訪れを感じさせる「ツルボ」は、八月から九月にかけて、淡い紫色の小さい花を総状に付けるユリ科の植物。日本では北海道から南西諸島にかけて分布するほか、朝鮮半島や中国大陸などにも自生しています。海岸の崖や日当りの良い川辺や野原に群生し、秋の彼岸頃に一面を淡く染め上げる光景は、まるで風光樓のよう。夏の間は他の草に紛れて地味な植物ですが、この季節には、その存在を一気にアピールします。

別名は「サンダイガサ」。この名前は、若い穂花の形が、公家が参内するときに従者が差し掛けていた長い柄の傘をたたんだ形に似ていることから付けられたと言われています。「ツルボ」の語源は不明ですが、蔓(つる)・穂(たから)きたという説があるようです。地下部分にできる短い茎、鱗茎(りんけい)には薬効があり、腰痛、膝の痛み、打撲傷には、生のまますりつぶして患部にすりこむと効果があるといわれています。

本学では総合情報センター脇の雑木林で見ることができ、気持ちの良い秋晴れの日に、その可憐な姿を觀賞してみたいかがでしょうか。



常磐の四季

大学の発展に貢献できる 同窓会を目ざして

第3回常磐大学同窓会総会・講演会開催



① 総会で挨拶をする池田正則同窓会会長
 ② 記念講演でお招きした元オリンピック・
 バドミントン選手の陣内貴美子さん
 ③ 学内の様子を紹介する写真展示
 ④ 楽しい一時をすごした懇談会

常 磐大学同窓会が平成十四年六月二十一日、本学で開催され、第一期生から第十六期生までの約三百名の卒業生が一堂に会した。一九八三年に創立した本学は、今年十九年目を迎える。当初は人間科学部一学部でのスタートであったが、一九九六年には国際学部、そして二〇〇〇年にはコミュニケーション振興学部が設置され、学びのフィールドも拡大した。それにとまない卒業生も増加し、現在の卒業生は約五千五百名、一万を超えるのもそう遠い将来ではない。しかし現在、大学は冬の時代と言われているのも事実。四年制大学の約三割、さらに短期大学の約六割が定員割れを起こし、閉校へと追い込まれる大学も出始めた。そんな状況にも関わらず常磐大学が順調に運営されているのは、学生、教職員の努力

はもちろん、卒業生たちが社会で活躍していることも理由のひとつだ。卒業生の約半数が所属する同窓会は、その象徴でもある。

開会の言葉で幕を開けた総会は、同窓会会長池田正則さんの挨拶、同窓会顧問の大堀哲副学長の挨拶と続き、平成十三年度の活動報告や平成十四年度の事業計画を決議する議事へ。平成十三年度の事業では、学生支援事業として九月に行われたし棟(学生食堂)へのプロジェクト設置や学園祭への援助金支出などを報告。また平成十四年度の事業計画として学生食堂にテレビを二台設置することなどが議案にかけられ、満場一致で承認された。

総会の後に行われたのは、記念講演会。陣内貴美子さん(スポーツキャスター・ヨネックス所属)を講師に招き

「スポーツを通して感じたことと学んだこと」という演題でお話を伺った。陣内貴美子さんは、熊本県というバドミントンの盛んな地域に生まれ、小学四年からバドミントンをはじめた。中学では厳しい練習に耐え、中学生全国チャンピオンに輝く。そして進学したのは全寮制の高校。自炊生活ではバドミントンに集中できないと周囲は反対したが、両親だけは「自分で決めないと、失敗したとき他人のせいにする」と、陣内さんの決断を受け入れたという。そこで素晴らしい先生と出会い、二年生のときにインターハイで優勝。その結果が評価され、十六歳でナショナル・チームに選出された。陣内さんのバドミントン人生はここまで順調だった。しかし高校卒業後、体育大学へ進学したいという自分の考えを曲げ、強くなれると言われていた就職の道を選んでしまった。その後、海外遠征が多くなり、なかなか勝てない日々が続く。まだ世界レベルに達していなかったのだが、陣内さんは就職したせいで決め付けるようになる。高校進学するとき両親が言ったことは、まさに本

当のことだった。そして練習もあまりしなくなり、ストレスのせいか体調を大きく崩してしまふ。初めての挫折だ。陣内さんは現役を一時引退し熊本に帰って静養するが、体調は回復しない。体調を戻したいという気持ちより、むしろバドミントンをやらなくいいという安心感があったという。そんなある日、ナショナルチームの監督の勧めで日本一を決めるオールジャパンの試合を見る。そこではじめて逃げていない自分に気が付き、猛練習のすえ現役復帰。一九九二年にバルセロナオリンピックのダブルスで九位という成績を収めた。「諦めなければ、絶対に何か自分のプラスになる。結果よりも過程を大切にしたい」という言葉が印象に残るとても素晴らしい講演だった。

講演終了後の懇談会では、在学当時の思い出や近況報告など話題は尽きることなく、卒業生同士はもちろん、教職員との親睦も深め合った。

同窓会会長の池田正則さんは「同窓会は本格的に活動始めてから、まだ二年ぐらしか経っていません。ですから、どこまでいような活動ができるのか模索している段階なんです。でもこれから同窓会がきちんとしたネットワークとして機能し始めれば、例えば学生たちに対して就職情報を提供することなどもできるのではないのでしょうか。また、自分たち卒業生も生涯学習センターなどを活用し、大学が社会の資源として認識されるよう、協力していきたいと考えています」と、将来の展望を語っていた。



グローバルな視野と教養を養うため人間科学部、国際学部、コミュニケーション振興学部に通し実施されている「総合講座」。その中で「実践と体験」をテーマに展開されている伝統文化演習の授業が六月十八日に行われた。国際学部の金子明石教授が講義を受け持つこの授業は、陶芸を通して日本の伝統文化に対する理解を深めようというもの。学生は自分たちで茶碗をつくり、でき上がった茶碗を鑑賞し、茶道部の協力で実際に茶を楽しむ。

陶芸の実技指導をしていただくのは、益子で工房を営む「兎窟」の佐々木茂さん。「器は、普段何気なく見ているものですが、自分でつくることにより見え方が違ってきます。それと同じように、この経験が日本の伝統文化に対する見方を変えるきっかけになってくれたらと思っています。」

自分でつくった茶碗を手にした学生たちは、友人たちと出来映えを見比べながら、一様に瞳を輝かせていた。

Campus Topics!

**陶芸教室で
伝統文化を
体験する!**

焼き上がった茶碗に満足そうな学生たち

Interview ■就職内定者に聞く ①

効果的な活動で勝利をつかめ!

今年も就職戦線が幕を開ける季節がはじまった。まだまだ現状は厳しいが、企業だつていい人材はもちろん欲しい。より効果的な就職活動で自己実現の夢をかなえよう!

森永乳業(株) 内定



山崎 亜希子
国際学部
国際ビジネス学科
(茨城県立佐和高等学校 出身)

就職活動の方向性を
インターンシップで
見つけました!

私 は就職活動に、かなり出遅れてしまいました。その理由は小川先生のゼミ。三月のはじめから一週間森永乳業のインターンシップに参加していたんです。だから企業の合同説明会に行きはじめたのも、三月の終わりにくいから。自分がやってみたい仕事は、比較的、都内に集中していたんですが、その頃の就職状況はよくに「クを過ぎたあと、エントリーを締め切った企業も多くて少し焦りました。でもインターンシップに参加したことは大きくプラスになったことも事実。広告マーケティングに関して、実際に行われている企業活動を体験することができたし、なにより自分は「こまでやっただけだ」という自信ができましたから、私は人とコミュニケーションをとる営業職に就きたいと思っていました。最近の営業職に求められるのは、単に商品を販売するだけではなく、自分でプランを立てて商品のメリットを訴求する企画提案型の営業。インターンシップの影響もあって、わたしにはとても魅力的に感じられるんです。

それは就職活動に、かなり出遅れてしまいました。その理由は小川先生のゼミ。三月のはじめから一週間森永乳業のインターンシップに参加していたんです。だから企業の合同説明会に行きはじめたのも、三月の終わりにくいから。自分がやってみたい仕事は、比較的、都内に集中していたんですが、その頃の就職状況はよくに「クを過ぎたあと、エントリーを締め切った企業も多くて少し焦りました。でもインターンシップに参加したことは大きくプラスになったことも事実。広告マーケティングに関して、実際に行われている企業活動を体験することができたし、なにより自分は「こまでやっただけだ」という自信ができましたから、私は人とコミュニケーションをとる営業職に就きたいと思っていました。最近の営業職に求められるのは、単に商品を販売するだけではなく、自分でプランを立てて商品のメリットを訴求する企画提案型の営業。インターンシップの影響もあって、わたしにはとても魅力的に感じられるんです。

僕 が「常陽銀行」を受験したのは、就職活動最後の、まあ記念受験みたいなものでした。だから最初は金融なんてまったく考えず、ただ人と接する機会が多く、地域に貢献できる仕事を探していたんです。就職活動を始めたのは二月、ちょうどその頃、東京ビッグサイトで開催された企業の合同説明会に参加しました。茨城ではまだ本格的な活動に入っただけの時期ですが、やっぱり東京は違いますね。人事の方との面談などで、自分の勉強不足を思い知らされました。そこで具体的な絞り込みを始め、ディ

常陽銀行 内定



柴崎 学
国際学部
国際協力学科
(茨城県立下妻第二高等学校 出身)

ネットの時代だから
足を使った活動が
効果的ですよ!

ラーと流通業を中心にアプローチすることに決めました。次に始めたことは「店舗訪問」。これは興味のある企業に電話をかけ、まず本社で面談をします。そしてその企業の支店を一つひとつ訪問してレポートを作成し、もう一度、本社の人事の方にそのレポートを報告する活動です。この活動が成功したのか、受験した企業からは、ほとんど内定をいただくことができませんでした。だから常陽銀行はリックスして受けられたんです。常陽銀行の試験が始まったのは五月、一次はエントリーシートと作文を書き

野村證券(株)・水戸支店 内定



永山 仁美
国際学部
国際ビジネス学科
(茨城県立日立第二高等学校 出身)

オリジナルな話題で
強く印象に残る
面接をしてください!

私 は大学に入った頃から、金融業界に就職することを決めていました。だって、これからの社会は何があるか分からないじゃないですか。だから自分のことは自分で守れる経済的に賢い女性になりたいんです。金融業界に入れば、そういった専門的な知識を学ぶことができますよね。そこで三年の夏には就職活動対策を始めました。実際に企業と接触を持ったのは、十二月に開催された三井住友銀行主催のオープンセミナー。ここではかなり刺激を受けましたね。参加者の数も多いし、もう試験を受けてる人もたくさんいる。自分の意識を変えないとって、本当に思いました。それから内容も良かったんです。特に「いろんな人と話せば後悔の数が少なくなる」とっていうお話しには、とても感銘を受けました。私が、より本格的な活動を始めたのは二月、ちょうどその頃、野村證券のセミナーが東京で開かれました。このときはまだ、野村證券に就職するとは思ってなかったんですが、銀行とは違う金融の形態を知ることができ、とても勉強になったことを覚えています。そして、三月から五月にかけて次々と試験が始まりました。その中のひとつが常陽銀行です。もちろん常陽銀行はひとつの目標でした。でも早く資産運用などの知識を身に付けたいと思っていた私は、いつのまにか野村證券にとても惹かれていたんです。だから常陽銀行に内定をいただいても野村證券での活動を続けました。野村證券の一次試験は五月の終わり、会社説明と筆記試験がありました。筆記は文章読解と計数の試験。この計数は暗算のテストだったんですが、実は事前にネットでそのことを知ってました。東京ではもう試験が行われていて、サイトに書き込みがしてあったんです。次は二対二の一次面接。この面接ではひとつ考えていたことがありました。それは、野村證券の投資家向けセミナー。私は面接でアピールポイントにしようとして、このセミナーに参加してました。これは私にしかないオリジナルな話題。野村證券に対する私の気持ちが伝えられたと思います。二次面接はその翌日に行われました。野村證券の株価やCMの感想などが質問内容です。そして最終面接に行くことになりました。辛いこともありました。いろんな人と出会い、私自身、とても成長することができた就職活動でした。

Interview

就職内定者に聞く

2

私 は小さい頃から公務員になりたかったんです。父も姉も公務員だということもありますが、基本的に事務系の仕事が好きなんです。でももしかしたら他にも自分に合った仕事があるんじゃないかって思うようになり、就職活動を始めました。まあ公務員の試験は遅いので、この企業にも決まらなかつたら最終的に公務員についてことも考えられますしね(笑)。

就職活動は、学校が開催する企業の合同説明会への参加がメイン。二月から六月にかけて毎月行われるこの説明会は、二十社くらいの企業が参画して

東日本旅客鉄道(株)水戸支社 内定



木村 幸子 短期大学 教養学科秘書コース (茨城県立水戸第三高等学校 出身)

行われるもの。エントリーした企業の情報は、ほとんどこの説明会で収集しました。私はやっぱり事務職が希望だったので、事務職を募集している企業が来るときは必ず参加していましたね。そして「JR東日本」の試験があったのは五月の末。実はこのとき、私は説明会だっと思い込んでいて、選考会だとは知らなかつたんです。急に履歴書に記入すると言われて、ちよっとビククリ。だって何にも書くことを考えてなかつたし、心の準備だっできていないんですよ。とにかく、学校で指導してもらったことなどを必死で思

い出して何とか書き込みました。でも周りを見ると、みんな小さなスペースに細かい字でビッシリ書き込んでいます。私なんか、みんなの半分くらいしか書き込めなくて、もうダメだっと思っていました(笑)。

会場で何をするかちゃんと調べて試験に臨みましょう!

れた数字を早く選び出すような問題でした。面接は二対一で約二十五分くらい。志望動機や自己PRなど一般的な質問が終わると、「JRのことについて聞かれました。資本金、株、最近起きたJRの出来事についてなんです。私は資本金しか答えられませんでした。それでも全体的には自分を素直にだせたんじゃないかなって思っています。一緒に受験した友だちは、考えて来たことを全部言おうと思つたら、そんなことは聞いてません。って面接官から厳しく注意されたって話してました。面接って本当に難しいですね。

大 学に入学した頃から就職難の時代だっって言われていたので、かなり早くから就職は意識していました。実際に活動を始めるきっかけになったのは、九月に大学が開催した就職説明会。内定をいただいた先輩方の話で「もう始めてないのダメ。早ければ早いほど有利に活動を進められる。」って聞いて、急いで一般常識の勉強から始めました。それから僕は金融関係に絞って入っていたのでニューズ番組などの

経済情報にも敏感になってましたね。企業にアプローチを始めたのは一月。企業の合同説明会にもかなり参加しました。でも最初は本当に驚きました。金融関係企業のブースに、すごくたくさんの方が並んでるんです。一、二時間待ち。もうあたりまえの世界。圧倒されましたが、これだけライバルが多いんだって気持ちも入りました。茨城の金融機関、ほとんど全部受けたんですが、早いところでは一月の末に試験が始まります。「茨城県信用組合」は比較的遅いほうで、試験があったのは四月の末。一般常識、漢字、英語、最新の時事用語、そして数学などの筆記試験と作文が一次試験でした。次は五月の中旬に行われた面接。こ

茨城県信用組合 内定



野々下 明 人間科学部 組織管理学科 (茨城県立佐和高等学校 出身)

のときは一次面接と二次面接を一日でやっただけです。一次は二対一で行われ、志望動機や他に受けた企業などを聞かれました。他に受けた企業については、正直に答えたほうが後々のトラブルにならないと僕は思います。二次面接は人事部長との二対一。自己PRとか社会人と学生の違いはどこにあるのかと聞かれました。

金融関係への活動は早く始めることがポイントです!

そして五月の末には四対一の役員面接。これが最終だったんですが、二次面接が通れば90%は受かるって人事の方から聞いていたんで、少し気が楽でした。質問も最終確認くらいでした。ただ役員の名前を読み上げるっていうのがあって、これは呼び捨てにしないでちゃんと役職名までつけられるかどうかをチェックしたみたいです。就職活動を振り返ると、やっぱり茨城の学生はちよっとのんびりしてますね。合同説明会などで東京からリターンしてくる学生に会うと、本当にそれは痛感します。受け答えもしっかりしてるし、何か洗練されてる感じがするんです。だから就職活動はできるだけ早く始めて、たくさん経験を積んでください。そうじゃないと、本命の企業で実力が発揮できませんから。

大和証券(株)水戸支店 内定



小島 佐友里 人間科学部 コミュニケーション学科 (茨城県立日立第一高等学校 出身)

就職課のメールで私の就職活動が大きく変わりました!

私 の就職活動は、ちよっと出遅れてしまつて二月に入ってから始めたんですが、最初は本当に驚きました。人気のある企業の前には順番待ちの列ができて、みんな必死になって自分のことをアピールしている。これは、自分も頑張らないとダメだ。真剣に思いました。それで、化粧品会社や旅行代理店など興味のある業種からエントリーを始めたんです。旅行代理店の就職試験は東京で行われるものが多く、東京の学生たちの活動状況を知ることができました。でも東京では四月の時点で内定が出ている人がいて、茨城とは温度差があるなって実感しましたね。

こうして就職活動を続けていた五月のある日、就職課から携帯電話のメールが入ったんです。それが、大和証券の募集の知らせでした。私は特に金融関係に興味があった訳ではないのですが、勤務地が私が希望している水戸だったこともあって、軽い気持ちで受けてみることにしました。そして試験があったのは五月十四日。筆記試験と面接が行われました。筆記はSPIと性格検査。表やグラフからデータを読

み取る、資料解釈の問題はすごく難しかったです。でもこの筆記試験のときの試験官の方が、試験の進め方に関して丁寧に教えてくださったので、落ちついて問題を解くことができました。そして面接のとき、面接室に入ってビククリ。筆記試験のときの試験官二人が、面接官として座ってるじゃないですか。この面接はこの二人と支店長の三対一で行われたんですが、さっきまでいろいろ話をした方だったので緊張せずに答えることができました。自分ではそんなにできたとは思ってないんですが、人事の方は筆記試験の結果を重視したっておっしゃってました。でも、SPIで中学や高校の頃勉強した知識が必要ですよ。その点、私はアルバイトで家庭教師をしているので、その頃の勉強は人よりも復習してるほうなのかなって思います。就職活動は、やっぱり辛いこととか大変なことが多いのは事実です。でも落ち込んでいても何も解決しません。私は大学に入ってから友だちの影響で、けっこう楽天的になれたんでそれもよかったですね。

みなさんも、あまり考えすぎずに早くうちから就職活動を始めてください。

現在、企業の採用活動はどんどん早期化している。だから就職活動もそれに対応できるように早めに計画を立てて取り組みたい。たとえここで紹介した学生と同じ活動は難しくても活動の早期開始は誰にでもできる対策なのだ。

Circle Flash!



→第92回全関東学生弓道選手権大会に出場した武蔵信幸部長

↓部員数も充実した弓道部



この秋に行われるリーグ戦では、もちろん二部リーグへの昇格が目標として、さらに団体出場も狙うという。弓道部は、いま最も勢いのある運動部のひとつだ。

武道の中でもとりわけ静寂が似合う競技、それが弓道だ。的一点に全神経を集中させ弓を引くその姿は、ストイックなまでに自分との戦いを思わせる。その凛としたイメージに惹かれてか、現在、弓道部の部員数は急増中だ。昨年まで十数名だった部員も今年は二十四名、これで、部員の数が足りずに出場できなかった大会にも参加できるようになった。練習は週に五、六回、武道館や一般の施設を借りて行っている。それが教え合いながら、試合形式で互いに競う。『練習は試合のつもりで、試合は練習のつもり』で行っている、部長を務めるコミュニケーション振興学部コミュニケーション文化学科三年の武蔵信幸さんは言う。

人気と実力のバランスが充実し飛躍のときはいま!



第11回
弓道部

常盤大学「福祉講演会」が平成十四年六月二十六日、本学で開催された。参加者は、社会福祉施設、社会福祉協議会、社会福祉関連企業、行政などから約百五十名、そして傍聴者としてコミュニケーション振興学部・ヒューマンサービス学科の学生、約三百七十名という定員を遙かにオーバーする聴衆が詰めかけ、関心の高さを示していた。

明日のために「地域に福祉を築く」



一番ヶ瀬 康子先生

福祉講演会



●定員を超える聴衆を集めた「福祉講演会」

活動を実践する人材を養成している大学の取り組みをアピールすることだ。講師としてお招きしたのは、日本女子大学名誉教授、長崎純心大学教授の一番ヶ瀬康子先生。一番ヶ瀬先生は、五十年以上前から一貫して日本の福祉を指導して来られた方。福祉関連の著作が数冊というだけでなく、その功績の大きさは理解することができる。講演は、「地域に福祉を築く」というテーマで行われ、日本が歩んできた福祉の歴史から、現在、自身が行っている活動内容、そして、「いまの活動が福祉の分かれ目になる」として、二十一世紀の地域福祉の重要性へと展開した。この講演会を傍聴したコミュニケーション振興学部・ヒューマンサービス学科三年の木村仁美さんは、「将来福祉関係の仕事に就きたいと考えているので、勉強のために参加しました。私も地域に根差した福祉を行うため社会福祉士の資格を取りたいと思います」と、頼もしく語っていた。

英語の原書を読むと効果的です!

高校までは英語が大嫌いだったんです。いま思えば、まだ英語に馴染んでなかったんですね。そんな私が英語を理解するようになったのは、ファンタジー小説「ハリー・ポッターと賢者の石」がきっかけでした。映画を見て、どうしても小説が読みたくなったんです。それでブックセンターに行ってみました。残っていたのは英語で書かれた原書だけでした。でもまあ、原書は安いからいいかって思い買ってみました。最初は



きらり人 KIRARIBITO

国際学部
国際ビジネス学科/3年
中山 あずさ
★
TOEIC 635点取得

少しだけ抵抗がありました。でも小説の内容が面白くて、だんだん英語も気にならなくなりましたね。もちろん辞書を引きながら読み切ったんですが、それで英語力が付いたんだと思います。TOEICの試験はリーディングだけじゃなくリスニングもあります。私は大学でTOEICのリスニング用の授業を取っていたんで、対策は万全でした。それが今回の六三五点という結果につながったんですね。英語は分かってくると、どんどん面



↑990点満点中、635点を獲得した中山さん

白くなってきます。例えばテレビでハリウッドスターのインタビューなどを見ていると、訳によって本当はもっと違ったニュアンスで言っているんだなとか分かったりして。みなさんの中に、もし英語が苦手な方がいたら原書を読んでみてください。でも必ず簡単に面白い本から始めること。そうじゃないと、嫌になっちゃいますから(笑)。

Campus Topics!

体験しよう
オープン
キャンパス!



多くの受講生を集めた短大・幼児教育保育学科の模擬授業



約1300人の高校生が集まった

夏休みを迎えた高校生たちに、常盤大学・常盤短期大学を体験的に知ってもらう「オープンキャンパス」が平成十四年七月二十七日に行われた。今年の夏は例年より気温が高く、開催当日もかなりの暑さ。しかし県内外から熱心な高校生が集まり、約千三百人の来場者を数えた。内容は各学科専攻ごとの模擬授業のほか、教授や学生たちが工夫をこらした特別企画など。入試概要説明や個別相談にもたくさんの高校生が集まり、順番待ちの列ができるほど。高校生たちは詳しい入試情報などに聞き入り、強い関心を示していた。

人間関係がどんどん複雑になっていく現代社会の中で相手の心を知りたい、自分の心を知りたいと思う気持ちはとても自然で大切なこと。人間の心理に隠された、「コミュニケーションの秘密を宮本先生が担当する二つの講義を軸に説き明かしてみよう！

人間科学部 宮本聡介助教授に聞く — 社会心理学 —

自分を知ることが相手の理解にもつながる

自分の中にあるもうひとつの自分

自分を理解すること、相手を理解すること。この二つのテーマを中心に、研究を進める社会心理学の授業。それが、宮本聡介先生の『自己表現の社会心理学』と『対人認知の心理学』だ。



この2枚の写真、まったく同じ女子高生が描かれています。右は背景が繁華街、左は背景が草原になっています。これだけでも同じ女子高生の印象が違って感じられませんか。繁華街を背景にした女子高生により悪い印象を持った人、相手をステレオタイプに当てはめてしまいがちかもしれません。

どんな特徴があるのか、そういうことを中心に話をしています。自分と他者とは、まったく違った存在である。しかし理解の過程に、自分も他者も大きな違いはない。「自分の性格をどうやって理解できるかなんてことも、実は初めて会った人を理解するのと同じには変わらないんです。要するに、私たちが自分を理解するときには、その自分をもつひとりの自分が客観的に見るかたちで理解しているのです。例えば、『私は自分について考える』という場合、自分について考えている『私』と、私が考えている『自分』とは指している対象がまったく違う。自分について考えるときの『自分』とは自分の頭の中に記憶として残っているもの。それに対して自分を考えている『私』は、いままさに現在進行形で考えている自分自身なのだ。「自己表現するときには、自分をきちん理解しなくちゃいけない。そこです、人間は二つの側面を持っていて、二つのことを認識する必要があります。無意識に行うイメージコントロール人間とは自分のことを知っている一方で、案外、何も知らないで生活しているものなのかも知れない。

みやもと そうすけ 筑波大学大学院博士課程心理学研究科修士、博士(心理学)。専門は社会心理学。●近年、催眠に興味を持っており、組織の安全管理に関わる心理学も手がけていたりしている。



「面白い例のひとつに、セルフハンディキャッピングっていうのがあります。これは何かというと、例えば翌日定期テストが実力テストがある日、本来ならば一生懸命勉強をしたいところなんだけど、気が付くと長い時間テレビを見ていたり、普段やらない部屋の片付けをはじめたりする。なぜかというと行動をとってしまうかというところ、一生懸命勉強してテストで悪い点をとると、本人の能力がないということが伝わってしまうから。そこで、ついつい手を抜いてしまったというのを相手に伝え、その分を割り引いて能力を見てもらおうとする。他にも、自分の弱いところをわざと見せる『哀願行動』と呼ばれるものもある。これは、自分のことをあえて弱く見せることによって、相手の自分に対する評価の基準値を下げさせること。弱い部分を見せていたにもかかわらず成功すれば、当人に対する評価はものすごく高くなる。このように、人間とは無意識のうちに自分のイメージを上手にコントロールしているのだ。

相手を誤解する心理ステレオタイプの認識

そしてもうひとつ、相手を理解するときの心理過程を中心に解説するのが『対人認知の心理学』。

「人間は相手の行動に何らかの理由付けをしようとする。例えば、犬が尻尾を振りながら自分に近付いてきたとしますね、そうすると、私たちが人間はその犬が喜んでいたり表現するあるいは、こんなに喜んでるんだからこの犬は自分を好きに違いないとかいろんなことを考えるわけです。だけれども、本当に好きかどうかというのには犬に聞いてみなくちゃ分からないことですね。これは人間が相手でも同じなんです。見ている側が勝手に思ってしまうこと、本人が実際に思っていることの間には、大きな隔たりがあるんです。」

人間の行動を理解するときには、こつこつ思い込みがあることを認識したうえで、誤った解釈を上手に埋め合わせる必要があり、軌道修正をおこなったりする必要があります。『実は、人間は誰でも幼少のときから、知らず知らずのうちに『ステレオタイプ』というものを学習してしまっているんです。例えば、病院の偉い医者か思い浮かべてみよう。もしあなたが思い浮かべた人が男性だったら、それはステレオタイプの影響を受けているかも知れない。偉いお医者さん＝男性のように。つまりステレオタイプとは、無意識のうちに対象を断定してしまつ固定概念のようなものだ。「これは人間を理解するときの情報処理の問題なんです、人間ってどうしてもステレオタイプの的に相手を見てしまっている。そのことが積み重なって大きくなると、偏見とか差別にもつながってしまうんです。」

編集後記 記録的な暑さに見舞われた夏も終わり、やっと朝晩には涼しい風が吹く季節となった。高校野球、インターハイとスポーツのイベントも一段落といったところだが、毎年秋季に始まる熱い戦いがある。ここ数年、厳しい状況が続いている就職戦線だ。まだ実感が湧いていない学生も多いと思うが、都内ではすでに

High School Topics! 夏の高校野球・茨城県大会 伸び伸びとしたプレーで 頑張れ野球部のナイン! 昨年、鮮烈なデビューを飾った常磐大高校野球部のナイン。一回戦をコールドゲームで勝利し、いよいよ二回戦は強豪と決戦だ!

● 常磐大学高等学校 Tokiwa University High School

いまや常磐大高校でも夏の風物詩となった全国高等学校野球選手権・茨城県大会。今大会の一回戦は日立商業高校と当たり、十五対七で七回コールドと圧勝した。そして七月十五日、二回戦の相手はシード校の水戸商業高校。かなりの強豪を相手に常磐大高校も苦戦を強いられ、一回に先取点を取ら



に前哨戦が始まっている。そろそろ社会に目を向ける頃かもしれない。また一方で、大学に目を向ける社会人たちがいる。今回掲載した「生涯学習センター」の受講生たち。自己実現のため、地域社会に貢献するため、大学の学術資源が求められている。就職だけでなく、社会も大学も厳しい状況が続く今日、その状況を打開する活力は、パラダイムを超えた新しい発想から生まれるのではないだろうか。

*TOPOSに対する御意見は kouhou@tokiwa.ac.jp. までお寄せ下さい。 *古紙の利用・70%の再生紙を使用しています。